

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3143961号
(U3143961)

(45) 発行日 平成20年8月14日(2008.8.14)

(24) 登録日 平成20年7月23日(2008.7.23)

(51) Int.Cl. F 1
F 2 5 D 23/02 (2006.01) F 2 5 D 23/02 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 書面 (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2007-10079 (U2007-10079)
 (22) 出願日 平成19年12月3日(2007.12.3)

(73) 実用新案権者 596125011
 南 好明
 東京都あきる野市上代継4 3 7-4
 (72) 考案者 南 好明
 東京都あきる野市上代継4 3 7-4 番地

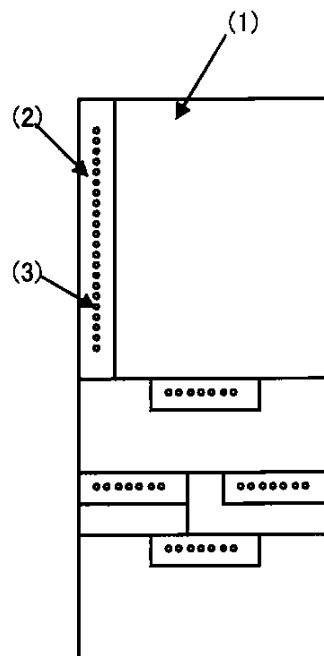
(54) 【考案の名称】 既製品のドア用ハンドルを使用出来る冷蔵庫

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 冷蔵庫の断熱ドアのハンドルについて、その交換性と汎用性の双方を改善し、冷蔵庫の断熱ドアのハンドルと、流し台などの厨房家具や収納家具のドア用ハンドルを統一する冷蔵庫を提供する。

【解決手段】 冷蔵庫の断熱ドアに、既製品のドア用ハンドルを取り付けることを可能とすることにより、問題を解決している。冷蔵庫の断熱ドアの外側に取り外し可能なパネルを設け、当該パネルに既製品のドア用ハンドルを取り付けられる間隔のネジ穴を予め複数個所用意しておき、当該パネルの適当な位置のネジ穴を選択して既製品のドア用ハンドルを取り付けてから、当該パネルを冷蔵庫の断熱ドアに取り付けることにより、冷蔵庫の断熱ドアに既製品のドア用ハンドルを取り付けることを可能とする。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

冷蔵庫の断熱ドアに既製品のドア用ハンドルを使用出来るようにすることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 2】

請求項 1 において、冷蔵庫の断熱ドアの外側に、既製品のドア用ハンドルを取り付けるためのネジ穴を設けた取り外し可能なパネルを取り付けて、当該パネルを介して既製品のドア用ハンドルを冷蔵庫の断熱ドアに取り付けることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 3】

請求項 1 において、穴の間隔が 32 mm、64 mm、128 mm、160 mm の既製品のドア用ハンドルを取り付けられるように、上記の複数の間隔のネジ穴を設けていることを特徴とする冷蔵庫。

10

【請求項 4】

請求項 1 において、穴の間隔が 32 mm、64 mm、128 mm、160 mm の既製品のドア用ハンドルに対応出来るように、公約数である 32 mm 間隔のネジ穴を羅列して設けることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項 5】

請求項 1 において、既製品のドア用ハンドルを取り付けるためのネジ穴を複数個所羅列して設けておくことにより、既製品のドア用ハンドルの取り付けの高さや位置の変更を容易にすることを特徴とする冷蔵庫。

20

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、冷蔵庫の外部デザインに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

一般に冷蔵庫の設置場所であるキッチンやダイニングなどにおいては、流し台などの厨房家具や収納家具と冷蔵庫の外観デザイン上の統一性が望まれるが、従来、厨房家具や収納家具と冷蔵庫の外観デザインを統一させる場合には、特別に設えたシステム製品を購入するが多かった。また、従来の冷蔵庫のドア用ハンドルの取り付け位置は固定的であり、使用者の事情に合わせて高さや位置を変えることが困難であった。加えて、従来の冷蔵庫のドア用ハンドルは、使用者の嗜好による種類や機能性の選択や変更に対応出来る範囲が乏しかった。例えば、タオルを掛けられる機能のついたハンドルに変更したいと思う場合でも変更は困難であった。

30

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

特別に設えたシステム製品を購入することは、設置スペースや資金面などの制約により容易でないことがある。そこで、様々な家具のドア用ハンドルを統一するだけで外観デザイン上の統一感が向上することに着目し、冷蔵庫の断熱ドアのハンドルについて、その交換性と汎用性の双方を改善して、冷蔵庫の断熱ドアのハンドルと、流し台などの厨房家具や収納家具のドア用ハンドルを統一することにより、前述の欠点を解決しようとするものである。また、同時に、従来の冷蔵庫のドア用ハンドルにおける、取り付け位置の柔軟性が低いこと、種類や機能性の選択および変更の可能性が乏しいこと、という問題も解決しようとするものである。

40

【課題を解決するための手段】**【0004】**

本考案は、冷蔵庫の断熱ドアに、規格サイズの既製品ドア用ハンドルを使用することにより、問題点を解決している。冷蔵庫の断熱ドアの外側に取り外し可能なパネルを設け、当該パネルに既製品のドア用ハンドルを取り付けられる間隔のネジ穴を予め複数個所用意し

50

ておき、当該パネルの適当な位置のネジ穴を選択して既製品のドア用ハンドルを取り付けてから、当該パネルを冷蔵庫の断熱ドアに取り付けることにより、冷蔵庫の断熱ドアに既製品のドア用ハンドルを取り付けることを可能とする。

【考案の効果】

【0005】

前述のように、本考案の既製品のドア用ハンドルを使用出来る冷蔵庫は、特別に設えたシステム製品を購入することなく、流し台などの厨房家具や収納家具と同一のドア用ハンドルを使用することにより、外観デザイン上の統一感を演出することに役立つ。また、使用者の事情により、ハンドルの取り付け位置の変更を可能とするため、例えば、使用者が子供の場合は、取り付け位置を低くすることで便利になる。加えて、広範な種類の既製品のドア用ハンドルから選択することが可能となるので、例えば、タオル掛け機能を有する既製品のドア用ハンドルに交換することも可能となる。ハンドルを含めた複雑な外部デザインを新製品ごとに施す必要性から開放されることにより、冷蔵庫の製造コスト低減も期待出来る。

10

【考案を実施するための最良の形態】

【0006】

冷蔵庫の断熱ドアの外側に、取り外し可能なパネルを差し込む溝を設ける。また、当該パネルに既製品のドア用ハンドルを取り付けられる間隔のネジ穴を予め複数用意しておく。既製品のドア用ハンドルをパネルに取り付けてから、パネルを冷蔵庫の断熱ドアに設けた溝に差し込むことにより、冷蔵庫の断熱ドアに既製品のドア用ハンドルを使用することが出来る。

20

【実施例】

【0007】

以下、添付図面に従って一実施例を説明する。(1)は冷蔵庫の断熱ドア、(2)はパネル、(3)はドア用ハンドルとパネルを取り付けるネジ穴、(4)は既製品のドア用ハンドル、(5)はネジである。冷蔵庫の断熱ドアと既製品のドア用ハンドルが取り外し可能なパネルを介して固定されることにより、冷蔵庫の断熱ドアに既製品のドア用ハンドルを使用することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【0008】

【図1】本考案の既製品のドア用ハンドルを使用出来る冷蔵庫の一実施例を示す正面図である。

30

【図2】本考案の既製品のドア用ハンドルを使用出来る冷蔵庫の交換可能なパネルの一例を示す正面図である。

【図3】本考案の既製品のドア用ハンドルを使用出来る冷蔵庫において、既製品のドア用ハンドルを取り付けた状態の一実施例を示す正面図である。

【図4】本考案の既製品のドア用ハンドルを使用出来る冷蔵庫において、既製品のドア用ハンドルの取り付け方の一例を示す側面図である。

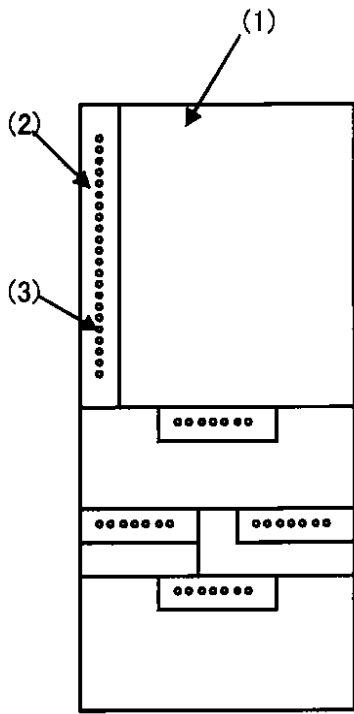
【符号の説明】

【0009】

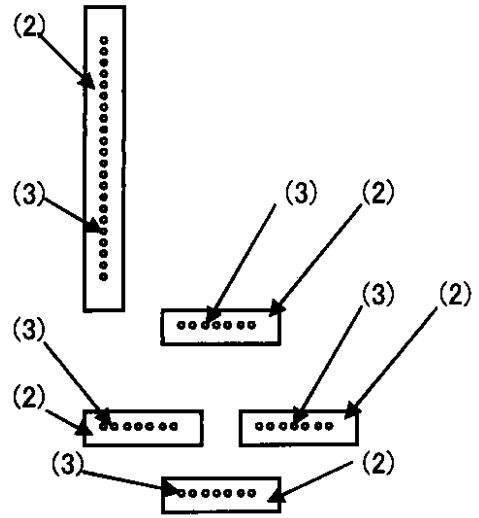
- (1) 冷蔵庫の断熱ドア
- (2) パネル
- (3) ネジ穴
- (4) 既製品のドア用ハンドル
- (5) ネジ

40

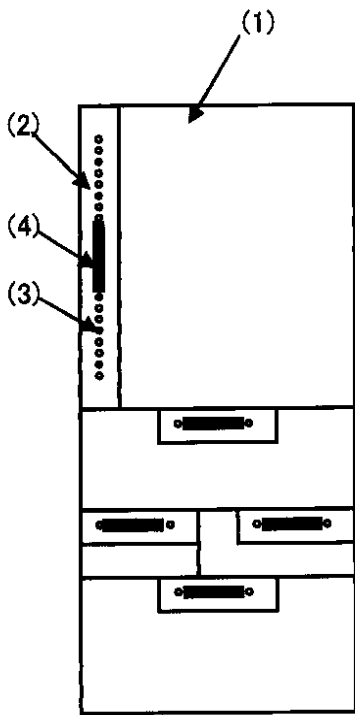
【 図 1 】



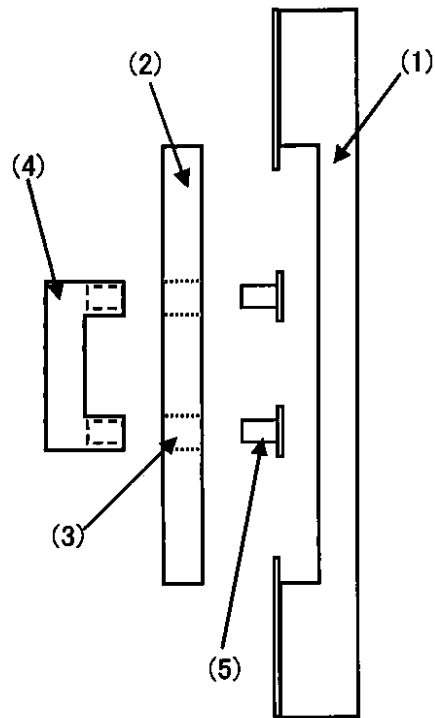
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



【手続補正書】

【提出日】平成20年3月11日(2008.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

冷蔵庫の断熱ドアの外側に、既製品のドア用ハンドルを取り付けるためのネジ穴を設けた取り外し可能なパネルを取り付けて、当該パネルを介して既製品のドア用ハンドルを冷蔵庫の断熱ドアに取り付けることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項2】

請求項1において、穴の間隔が32mm、64mm、128mm、160mmの既製品のドア用ハンドルを取り付けられるように、上記の複数の間隔のネジ穴を設けていることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項3】

請求項1において、穴の間隔が32mm、64mm、128mm、160mmの既製品のドア用ハンドルに対応出来るように、公約数である32mm間隔のネジ穴を羅列して設けることを特徴とする冷蔵庫。

【請求項4】

請求項1において、既製品のドア用ハンドルを取り付けるためのネジ穴を複数個所羅列して設けておくことにより、既製品のドア用ハンドルの取り付けの高さや位置の変更を容易にすることを特徴とする冷蔵庫。